

# 地域脱炭素の実現に向けた 当社の取組

株式会社YMFG ZONEプランニング

## 会社概要

### 事業コンセプト

# 地域とともに、未来をデザインする

### 事業の戦略的位置づけ

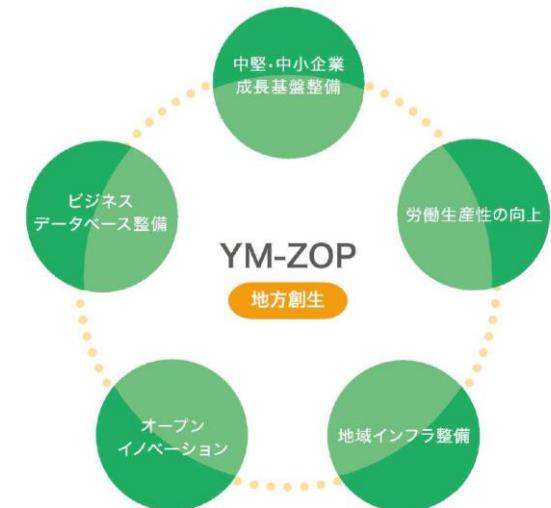
# 未来志向で新たな価値創造

### クリティカル・コア

# 地域と域外の有機的結合

## 会社概要

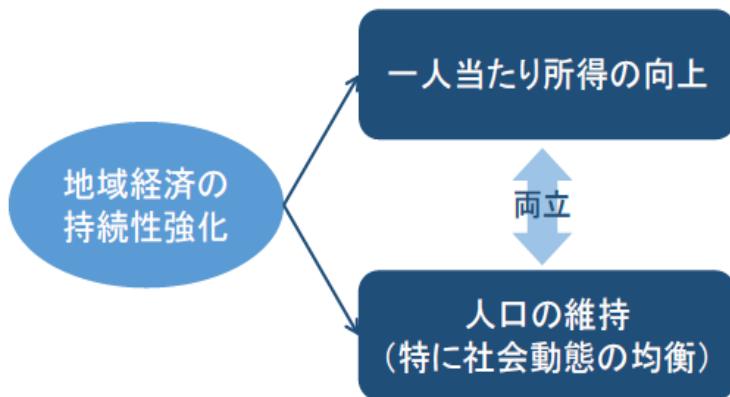
- 会社名 : 株式会社 YMFGZONE プラニング  
(略称: YM-ZOP「ワイエムゾップ」)
- 本社 営業所 : 山口県下関市竹崎町四丁目2番36号  
: 広島オフィス(もみじ銀行6階)  
北九州オフィス(北九州銀行2階)
- 設立 : 2015年7月21日
- 資本金 : 30百万円
- 代表者 : 藏重 嘉伸
- 株主 : 株式会社 山口フィナンシャルグループ  
(100%)



地方創生には、地域経済の「持続性の強化」と「自立性の強化」の2つの視点が必要

## 【地域の持続性強化】

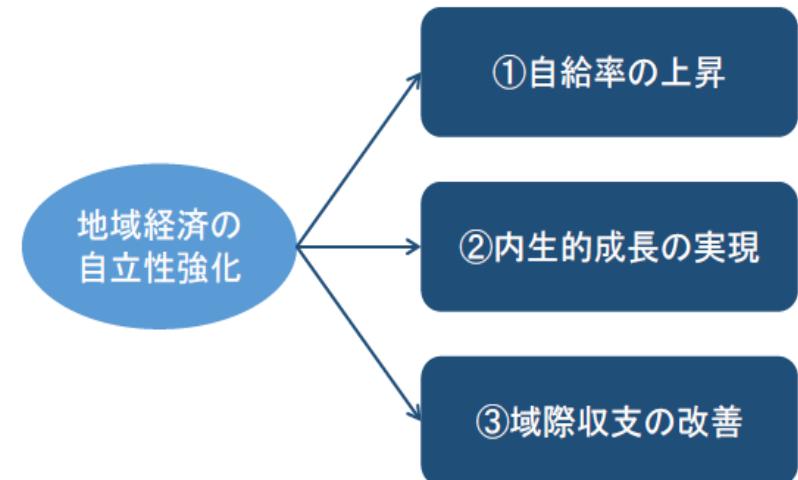
### （持続の条件）



複眼的な思考

## 【地域の自立性強化】

### （自立の条件）



複数の視点がある地域経済の自立性

地域を見通した戦略やデザインという  
発想が必要となる



地方創生コンサルティングの必要性

## 最先端の仕組みをYMFG ZONEに呼び込みイノベーションを創出



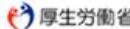
ヒトと会社に、きっかけを。



## — 自治体 —

 <p><b>下関市</b> Shimonoseki-city</p>	 <p><b>山口市</b> Yamaguchi City Website</p>	 <p><b>宇部市</b> 緑と花と彫刻のまち</p>	 <p><b>美祢市</b> MINE CITY</p>
 <p><b>防府市</b> Hofu City</p>	 <p><b>周防大島町</b> SUO-OISHIMA TOWN</p>	 <p><b>岩国市</b> Iwakuni City Website</p>	 <p><b>中津市</b> Nakatsu City</p>
 <p><b>柳井市</b> Yanase City</p>	 <p><b>山口県阿武町役場</b></p>	 <p><b>長門市</b> Nagato city website</p>	 <p><b>萩市</b> Hagi City Website</p>
 <p><b>大崎上島</b> Osakikamijima town</p>	 <p><b>周南市</b> SHUNAN CITY</p>	 <p><b>山陽小野田市</b> Sanyo-Onoda City</p>	 <p><b>下松市</b> Kudamatsu City</p>
 <p><b>光市</b> Hikari City</p>	 <p><b>北広島町</b> Kitahiroshima-cho</p>	 <p><b>和木町</b> 緑の風薫る文化のまち</p>	 <p><b>神石高原町</b> 広島県・神石郡 じんせきこうげんちょう</p>

## 一 民間企業・各種団体等 一

 <p><b>HITACHI</b> Inspire the Next</p>			
 <p><b>Microsoft</b></p>	<p>ヒトと会社に、きっかけを。</p> 	 <p>MITSUI &amp; CO.</p>	 <p><b>snow peak</b> outdoor lifestyle creator since 1958</p>
 <p><b>Mellow</b></p>	 <p>山口第一交通グループ YAMAGUCHI DAICHI TRANSPORTATION GROUP</p>	 <p><b>REA</b> Regional Economic Activation</p>	 <p><b>RCG</b> Regional Company Group</p>
 <p>厚生労働省</p>  <p>山口労働局</p>	 <p>YAMAGUCHI DENTAL ASSOCIATION 公益社団法人 山口県歯科医師会</p>	 <p>厚生労働省 広島労働局</p>	 <p><b>TU</b> TOKUYAMA UNIVERSITY 徳山大学</p>
 <p><b>徳山商工会議所</b></p>	 <p><b>新南陽商工会議所</b> The Shinnanyo chamber of commerce &amp; industry</p>	 <p>民間資金等活用事業推進機構 Private Finance Initiative Promotion Corporation of Japan</p>	
 <p><b>環境省</b> Ministry of the Environment 中国四国地方環境事務所</p>			

# 取組事例①

## 環境省 地域循環共生圏づくり プラットフォーム事業

# 地域循環共生圏とは

- 地域循環共生圏とは、各地域が足もとにある地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、環境・経済・社会が統合的に循環し、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方



(出所：環境省 第五次環境基本計画の概要)

## 地域循環共生圏マンダラ図

## 地域循環共生圏（日本発の脱炭素化・SDGs構想）

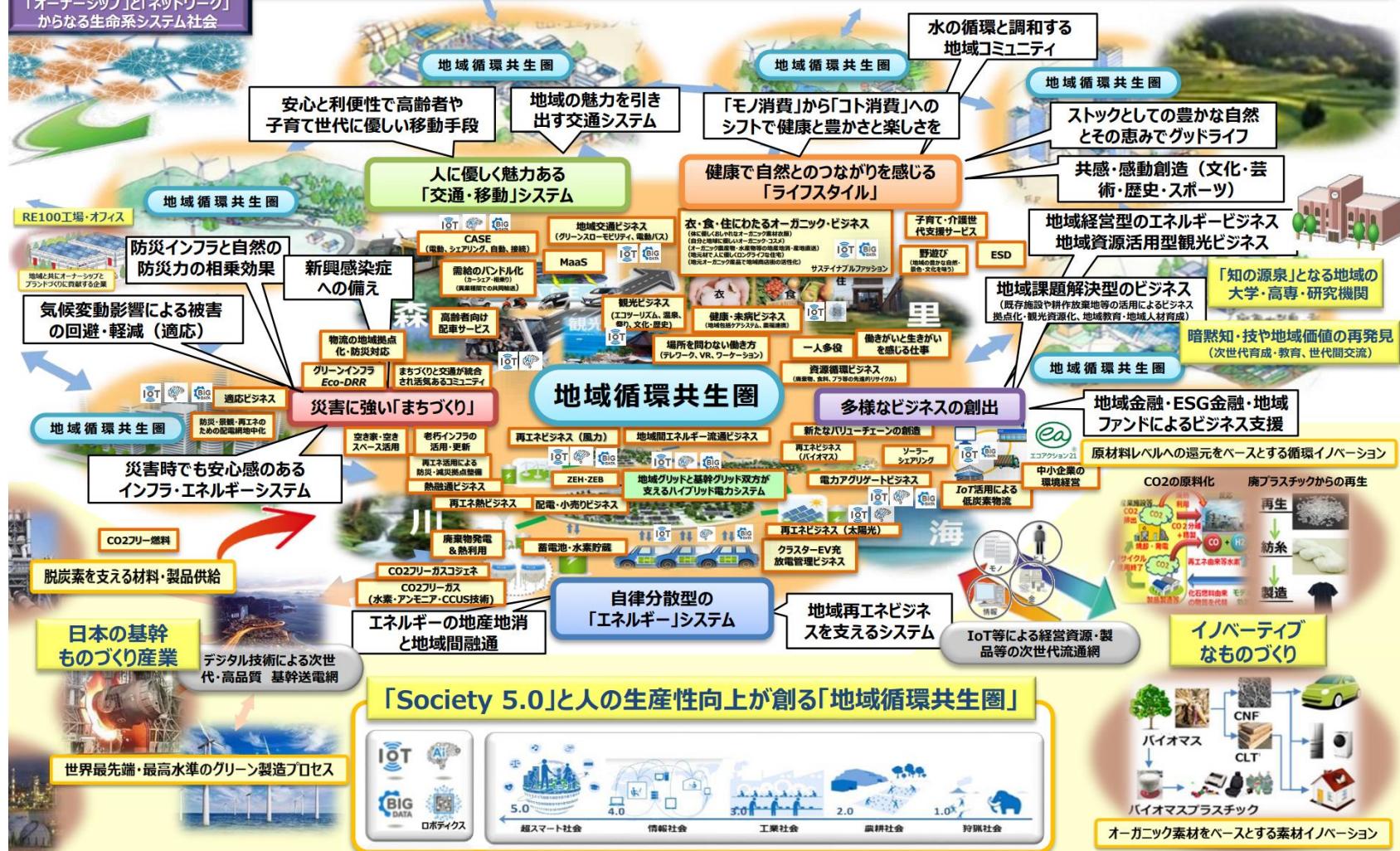
— サイバー空間とフィジカル空間の融合により、地域から人と自然のポテンシャルを引き出す生命系システム —

Ver. 26

「自立分散」×「相互連携」×「循環・共生」= 活力あふれる「地域循環共生圏」⇒「脱炭素化・SDGsの実現、そして世界へ」  
「オーナーシップ」「ネットワーク」「サステナブル」「人間の安全保障・次世代・女性のエンパワーメントを基盤に」

→ 新たな価値とビジネスで成長を牽引する地域の存立基盤

人々が健康で活き活きと暮らし幸せを実感することで、地域が自立し誇りを持ちながらも、他の地域とも有機的につながることにより、国土の隅々まで豊かさが行きわたる。



(出所:環境省HPより <http://chiikijunkan.env.go.jp/>)

## 事業概要

- 今年度、広島県神石高原町及び地元企業との連携により、地域循環共生圏の形成を目指す地域を支援する環境省公募事業に応募し採択。
- 地元企業が実施する、地域の森林資源（未利用林）を活用した木質バイオマス事業を起点として、そこから発生する副産物（“排熱（約450℃）”、“バイオ炭”）等を活用した“新たな経済循環の創出”及び“資源循環を通じた環境保全・カーボンニュートラルによる持続可能な地域づくり”等の検討を行う。

## 事業の検討イメージ

【共同事務局】  
(現連携体制)

地元企業

神石高原町  
役場

YMFG ZONE  
プランニング

### 【起点事業】

木質バイオマス  
発電事業  
(実施主体: 地元企業)



### 副産物

排熱  
(450℃)



バイオ炭



### 活用検討(案)

農業



防災



環境理解



健康増進



土壤改善



林業活性化



等

当社は共同事務局・運営企画の立場で参画

## 環境省事業及び地方創生の推進について連携

- 本件事業の共同事務局である、神石高原町と地方創生に係る包括連携協定を締結（令和3年10月6日）
- 環境省地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業を具体プロジェクトとして連携して推進

### ◆ 進行中のプロジェクト 『環境省地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業の共同実施』



**YMFG NEWS RELEASE**  
2021年9月30日

各 位

株式会社 山口 финансシャルグループ  
株式会社 YMFG ZONE プラニング

**神石高原町との地方創生にかかる包括連携協定締結について**

山口 финансシャルグループ（代表取締役社長グループCEO 棚梨 敬介）およびYMFG ZONE プラニング（社長 藏重 嘉伸）は、地方創生に係る新たな施策・事業を積極的に推進するため、神石高原町（町長 入江 嘉則）との三者間による「地方創生に係る包括連携協定」を締結することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 包括連携協定の目的  
地域が有する資源を活用しながら、環境・経済・社会が統合的に循環する地域づくりを連携して推進とともに、その他地方創生に関わる様々な分野で相互に協力し、協働した取り組みなどを行うことにより、地方創生の実現に資すること。
2. 包括連携協定の主な内容  
(1)若い世代が働きたくなる職場や環境の確保に関すること  
(2)本町の魅力を伝える交流人口の拡大に関すること  
(3)地域循環共生圏の形成に係る取組の推進に関すること  
(4)その他、地方創生の推進に関すること
3. 進行中のプロジェクト  
環境省地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業の共同実施
4. 包括連携協定締結式  
下記のとおり包括連携協定締結式を行います。  
(1)日 時 令和3年10月6日（水）11時00分～  
(2)場 所 神石高原町 三和協働支援センター 大集会室  
(3)出 席 者 神石高原町 町長 入江 嘉則  
(敬称略) もみじ銀行 頭取 小田 宏史（代理出席）  
YMFG ZONE プラニング 社長 藏重 嘉伸

以上

【本件に関するお問合せ先】  
YMFG ZONE プラニング 恩田 TEL 082-241-7820

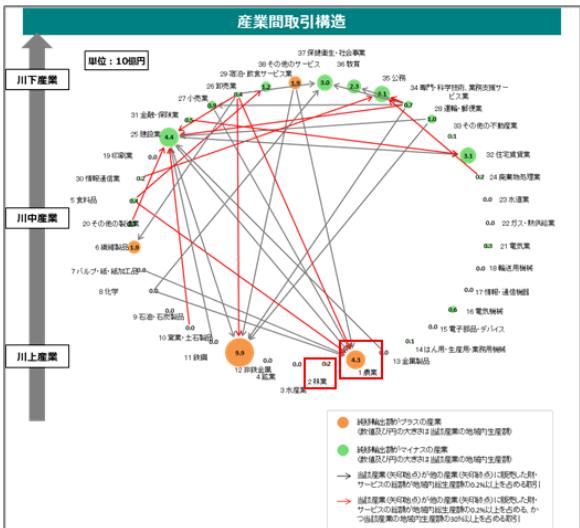
**YMFG**  
株式会社山口 финансシャルグループ  
総合企画部 広報室  
〒750-8603 下関市竹崎町4丁目2番36号  
<https://www.ymfg.co.jp>

## 地域循環共生圏の形成支援の内容

- 地域の経済循環分析を通じて、地域の産業構造の把握を行い、多様な地域資源を活用した持続可能な循環型の地域づくりに向けた活動を支援します。
- 地域の多様な関係者と共に、地域資源の活用を通じた新たな経済循環の創出と、環境保全の取り組みが連動する推進スキーム検討の支援を行っています。

### 地域経済循環分析

- 地域の産業構造の整理・分析を実施
- 域外からの所得獲得に関して特徴(強み)を有する産業を特定(神石高原町の場合は林業及び農業等)



### 地域での検討・合意形成支援

- 現地ワークショップの開催
- SDGsボードゲームを活用した住民理解の促進
- 行政職員向け地域経済循環分析研修の開催



### 事業構想の検討支援

- 地元関係者意見を基にした事業アイデアの整理・検討
- 地域版マンダラの整理

作成中の地域版マンダラ(案)

## 取組事例②

# 地域脱炭素・SDGsの推進に向けた Jクラブ レノファ山口・環境省中国四国地方 環境事務所との連携

## Jクラブ(レノファ山口)及び環境省、地方銀行の包括連携協定



◆2021年11月3日 全国初の協定締結

# YMFG NEWS RELEASE

# SDGs推進へ連携 レノファ山口・環境省・山口FGなど5者

## 山口県 Jクラブ「ESG・SDGs」推進プラットフォームの創設

環境省とJリーグは締結(令和3年6月28日付)した連携協定を日本各地で展開することとしており、「環境省(中国四国地方環境事務所)」と地元金融グループが連携し、J2クラブチーム「レノファ山口」のアクションを支援し、地域脱炭素、ESG・SDGsに関する先行事例を創出する。

## 連携協定締結(令和3年6月28日付)

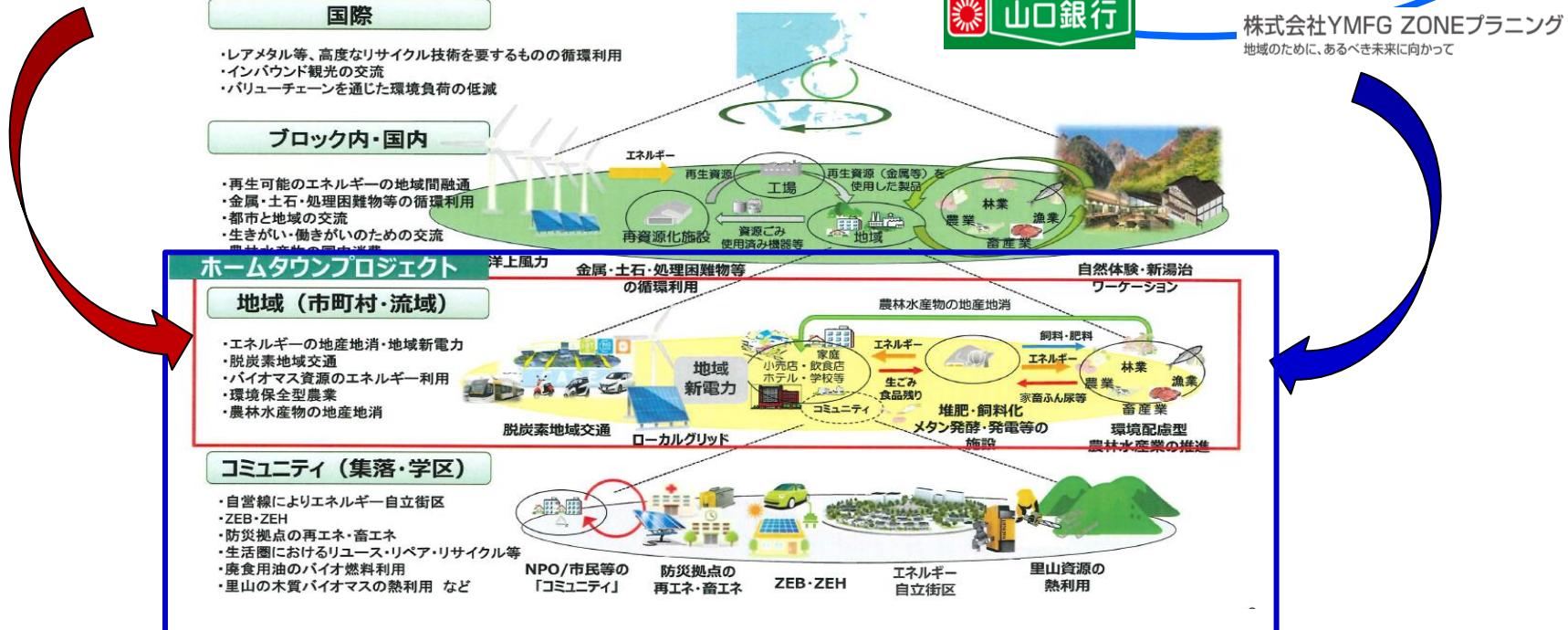


- カーボンニュートラル、脱炭素社会
  - サーキュラーエコノミー、循環型経済
  - 地域循環共生圏
  - 普及啓発、教育等

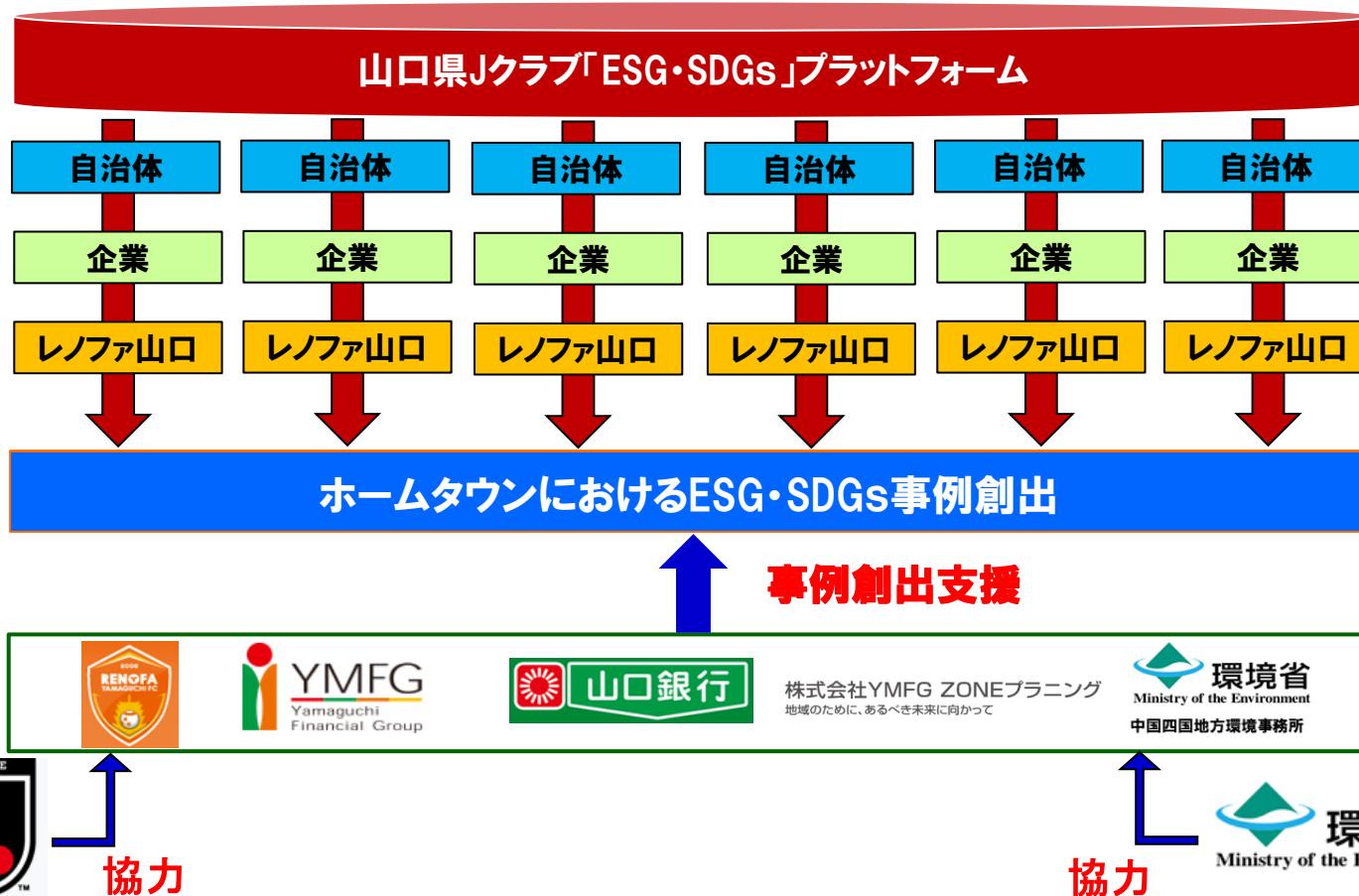
## 連携協定締結(令和3年11月3日付)



- カーボンニュートラル、脱炭素社会
  - サーキュラーエコノミー、循環型経済
  - 地域循環共生圏
  - 普及啓発、教育等

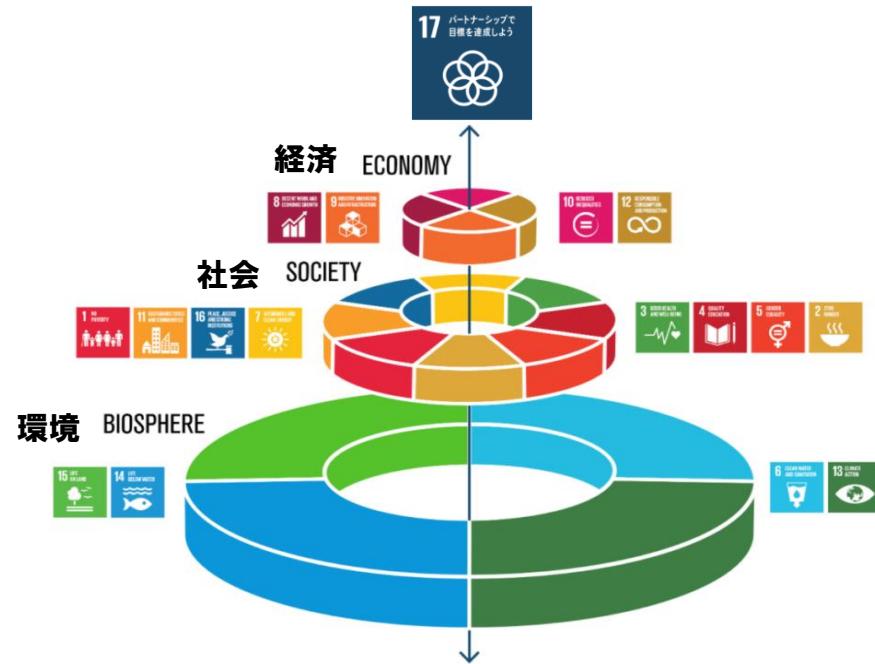
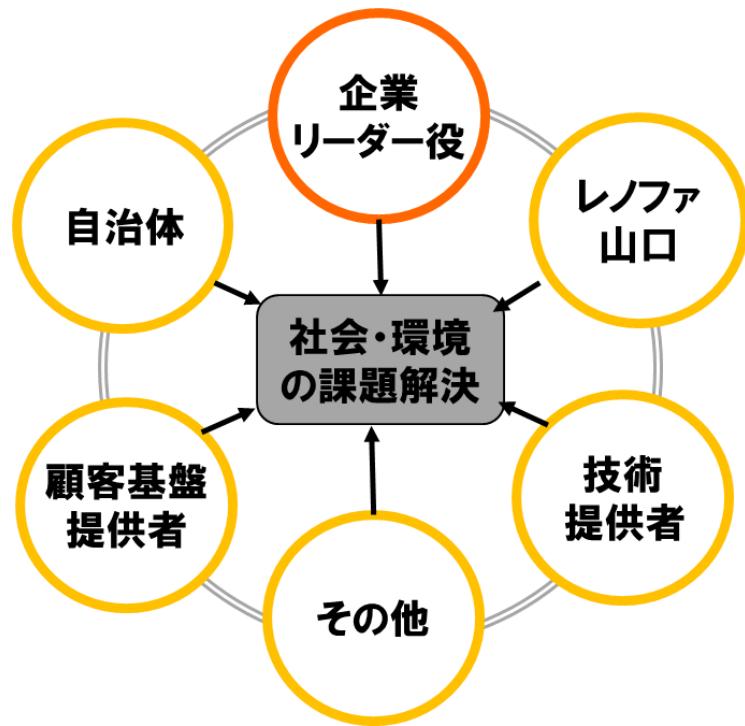


## 山口県 Jクラブ「ESG・SDGs」推進プラットフォーム



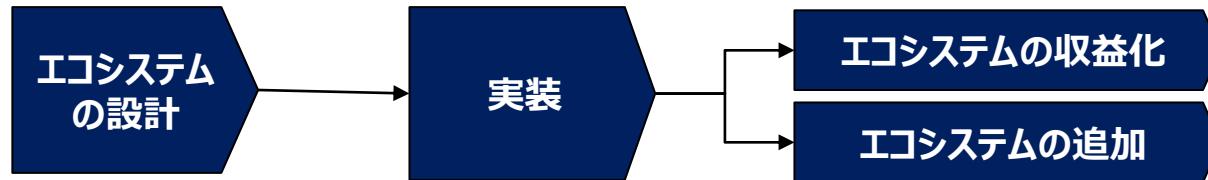
- ① SDGsの観点での地域の活力を最大限発揮するため、地域社会を構成する行政、企業、金融機関、市民団体、大学・学校、サポーター、Jクラブなどのステークホルダーが一体となった取組を実現するための環境整備と情報発信・コミュニケーションの推進
- ② 脱炭素社会（カーボンニュートラル）、循環経済（サーキュラーエコノミー）、分散型社会への移行を進めるための知見の共有や普及活動・行動変容を促す活動での協力
- ③ ホームタウンの地域資源を最大限活かした地産地消の取組の推進
- ④ 環境省とJリーグが持つ様々なチャネルを共有する連携の強化
- ⑤ 共通のゴールを実現するための更なるアクションを展開するための継続的な協議

## 地域エコシステム



SDGs ウエディングケーキ・モデル(ストックホルム環境研究所)

## 地域エコシステムが生み出される仕組み



## 地域エコシステムのプランニング

# 取組事例③

## 脱炭素社会の実現に向けた 調査事業の受託

## 当社の地域脱炭素に向けた自治体支援の取組イメージ

- 山口・広島・北九州地域において**ゼロカーボンシティを目指す自治体が実施する脱炭素へ向けた取り組みに対し、支援を行う。**
- 地域の幅広いニーズや期待に応えられるよう、山口FGのグループ間はもちろんのこと、取り組みに賛同いただける**パートナーと連携を図ることで効果的な推進活動を展開。**
- 具体的な活動として、**脱炭素社会実現に向けた計画策定の支援**、脱炭素社会実現に向けた案件の創出及び形成促進に向けた新たな取組を行い、**官民のノウハウの向上とともに新たな脱炭素関連事業の創出**を目指す。

地域において、地方自治体・金融機関・中核企業等が主体的に参画した体制を構築し、地域課題解決に資する脱炭素化の事業や政策を実行



## 呉市 令和4年度脱炭素社会の実現に向けた次世代エネルギー等の利活用に関する基礎調査業務

### ■ 取組目的

- 世界や国と同様に呉市においても、水素などの次世代エネルギーの活用等による温室効果ガスの削減と、**次世代エネルギーへの転換に伴う新しいビジネスの創出等による産業発展を今後どのように行うかを検討する必要**がある。
- 今回の調査は、製造業を中心とした**市内企業における脱炭素化を推進するとともに、企業の価値の向上につながる取組を検討**するために必要な基礎的な調査を行う。

### ■ 実施体制（役割）

#### 【代表企業】

#### YMFG ZONE プラニング

- 調査事業全体コーディネート
- 脱炭素社会の実現を踏まえた世界・国内産業の動向調査
- 市内企業の脱炭素意向の調査
- 脱炭素化に向けた市内企業の業態転換他の各種方策検討 等

#### 【構成企業（有識者）】

#### 株式会社価値総合研究所

- 地域特性・再エネポテンシャル等の分析
- 次世代エネルギー製造に係る可能性検討 等

#### 【グループサポート体制金融機関】

#### もみじ銀行・山口銀行各支店

- 市内企業との取引ネットワークの提供
- 市内企業の動向の共有・把握 等

#### 【その他連携先】

#### 地域経済団体（呉商工会議所、くれ産業振興センター等）

## 呉市 令和4年度脱炭素社会の実現に向けた次世代エネルギー等の利活用に関する基礎調査業務

### ■ 取組内容

- 脱炭素社会の実現を踏まえた世界の動向及び長期的な国内の産業構造の変化予測
- 脱炭素化に伴う産業構造の変革に向けた（他）県・（他）市の支援策の調査
- 脱炭素化に向けて業態転換等を図るために行う、市内企業の追加投資や 市内・市外企業の市内への立地を加速化させるための方策の検討
  - 市内企業へのアンケート・ヒアリングを実施し、脱炭素に係る取組状況や今後の取組意向等について調査
- 次世代エネルギーの地産地消、サプライチェーンの検討
  - 次世代エネルギーの製造・供給拠点としての可能性及び方策について検討



### 【今後】各地域で脱炭素に向けた取組が加速

- 地域脱炭素への取り組みは地方創生と地域課題解決に資する。
- **地域脱炭素への取り組みを加速化するためには、地域のポテンシャル把握及び多様な関係者・プレイヤーとの連携が必要。**

# ご清聴ありがとうございました

株式会社YMFG ZONEプラニング  
地域のために、るべき未来に向かって